

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	バス運行事業（堺市乗合タクシー運行事業）			事業番号	017-022
担当部署名	建築都市	局	交通	部	公共交通担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
1	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有	ゴール	ゴール(山)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2
		寄与するKPI	有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
1	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	—					
3	事業開始年度	平成 25 年度	点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市乗合タクシー運行事業実施要綱、堺市乗合タクシー運行事業実施要領					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	公共交通空白地域の住民ほか（令和2年度年間利用者数 17,340人）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	鉄道駅やバス停から離れた既存の公共交通が利用しにくい公共交通空白地域における住民の日常生活を支援する公共交通手段の確保。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	鉄道駅等と公共交通空白地域を結び市内9ルートにおいて、あらかじめ決められた運行ルート、停留所、時刻表に沿って、利用者から予約があった場合にのみ運行する。運行日は毎日。運行頻度は一日5便。運賃は大人300円、小人150円、おでかけ応援カード利用者は100円。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	大阪第一交通株式会社
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11	1台当たりの平均乗車人数	目標値	1.9	1.9	1.7	1.9	
		実績値	1.8	1.6			
		達成率	95%	84%			
当該指標を選定した理由		効率的な運行を示す成果指標として適切であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		前年度の実績に0.1人/台を加算した値。点検年度については、コロナ禍前（令和元年度）の平均乗車人数を目標値とする。					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
12	地域公共交通会議の開催数	目標値	—	—	2		
		実績値	2	2			
		達成率	—	—			
当該指標を選定した理由		地域公共交通会議では、各年度の現状を踏まえ、乗合率（1台当たりの平均乗車人数）の向上等、効率的な運行に向けた意見交換を行い運行内容の見直しを図っているため。					
目標値の設定根拠・算出方法		開催予定の会議の数（指標を新たに設定）					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	バス運行事業（堺市乗合タクシー運行事業）	事業番号	017-022
-------	----------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

（単位：千円）

事業費	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	事業費（a）	34,621	35,493	43,655	29,999	43,592
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	34,621	35,493	43,655	29,999	43,592
14	人件費（b）	4,920	5,670	5,740	5,740	3,280
15	年間経費(c)=(a)+(b)	39,541	41,163	49,395	35,739	46,872

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	運行委託料	R2	決算	28,276	28,276	資料作成支援業務	R2	決算	902	902
		R3	予算	43,320	43,320		R3	予算	0	0
	印刷製本費	R2	決算	529	529	保険料	R2	決算	5	5
		R3	予算	19	19		R3	予算	7	7
	消耗品費	R2	決算	0	0		R2	決算		
		R3	予算	45	45		R3	予算		
	停留所関連工事	R2	決算	0	0		R2	決算		
		R3	予算	121	121		R3	予算		
	停留所標柱運搬委託	R2	決算	287	287		R2	決算		
		R3	予算	80	80		R3	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		①	14,076
②	千円	41,163	35,739
③	円/単位	2,924	3,236

備考（算出についての説明等） 平均乗車人数の算出根拠の一部となるため年間配車台数にて設定

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	公共交通空白地域への停留所追加などの運行改善を行い利便性を向上させたこともあり、コロナ禍前までは配車台数も年々増加していたが、コロナ禍により乗合率が低下し、1台当たりの経費が増加した。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>・令和2年度実績については、コロナ禍により、乗合率の向上は見られなかったが、地方創生臨時交付金の活用により、令和2年10月～12月において、おでかけ応援制度が無料となる事業を実施し利用促進を図り、乗合率の向上に努めた。</p> <p>・当事業は、鉄道駅やバス停から離れた既存の公共交通が利用しにくい公共交通空白地域の市民の移動手段として不可欠なものであり、既存の公共交通と連携し、生活基盤としての公共交通の維持確保に寄与することができた。</p>
----	--